

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	麻生総合高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・総合学科
-----	----------	------------------	----------

1 学校のミッション

全日制総合学科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に 대응するため、単位制の利点を生かした年次進行を基調としたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目及び専門教科・科目にわたる多様な科目の中から生徒が主体的に履修したい科目を選択でき、興味・関心や進路希望等に応じた学習を可能にするという特質を活かし、「系列」に応じた系統性のある学習の確保に基づいて編成を行う。

これまで、生徒一人ひとりに応じた柔軟な教育課程を編成し、幅広い学習や体験ができる教育活動に取り組んできたが、今後はさらにこれまで実施してきた、「いのちの尊重に関する教育」を展開するとともに、自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善を行う等、成就感を体験させる教育実践を通して、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成に向けた教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 心豊かに主体的・創造的に生きるための資質や能力を確実に身に付け、自己を取り巻く環境に柔軟に対応し、豊かな社会生活を送ることができる人間を育成する。
- 豊かな教養と健康な心と体を育み、自ら課題を発見し、解決するための学習をとおして論理的思考力を養い、自己を多彩に表現できる能力を身に付けさせる。
- 将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養い、社会に積極的に寄与する意欲や態度を育てる。
- 教育環境の充実と地域や保護者から信頼される安心・安全な学校づくりを推進する。

3 計画作成時点での課題

- 教育の質の向上と授業時間の確保を目指し、授業改善、定期試験の共通化等、各教科で検討をすすめ、効率化と授業力向上の一層の推進が課題である。
- きめ細かく組織的な生活指導を行い規範意識の醸成を育み、生活指導件数の減少をめざし、生徒一人ひとりに対応する指導や支援を継続する必要がある。
- 生徒相談活動により、思春期の悩みの多い生徒へ個別相談を充実させ、明るく元気に学校生活を送れるよう支援体制の充実と組織化をさらに進める必要がある。
- 学校の活性化に向け、部活動加入への取組を推進し、加入率50%をめざす。
- 心と体の健康を育むとともに、「いのちの尊重に関する教育」を組織的、継続的に進展させる必要がある。
- 多様な進路に向け3年間をとおしてガイダンス科目を活用し自己実現への支援体制の整備を進め、希望の進路実現率100%をめざす。
- 教職員の異動に影響なく機能する組織の構築により、OJTをとおして業務の引継ぎと人材育成に取り組む必要がある。
- 事故不祥事防止会議や研修により、教職員が自己啓発意識を高め、事故不祥事防止に全力で取り組み、保護者、地域から信頼される学校づくりを継続的に推進する必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの自主的・意欲的な学習を支援するために、基礎学力の定着と生きる力を育む教育課程を編成する。 授業内容の精選、教授法の研究に組織的に取り組み、授業力向上を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外における学修や体験学習、専門科目、学校設定科目を体系化し、一人ひとりの進路希望の実現につながる教育課程を編成する。 授業研究、研修会などの計画的実践により、体験的でわかりやすい授業を展開する。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの自己肯定感を育み、安全かつ安心して生活が送れる学校づくりを進める。 心と体の健康と「いのちの尊重に関する教育」の組織的な研究・実践を推進し、社会性と主体性を伸長する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や委員会活動・部活動を活性化し、その活動をとおして自己管理能力や規範意識を確立させる。 学校内外の教育相談の機能と連携し、ケース会議の実効性を高め、生徒を支援する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりに応じた進学・就職に向けた指導を充実させる。 ガイダンス科目をとおして社会的・職業的に自立することを目指す人間を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 成長段階に応じた系統立ったキャリア教育を構築し、支援体制の整備を行う。 自己肯定感・成就感を培うガイダンス科目の研究開発を進める。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。 社会に貢献し、開かれた学校づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域イベントやボランティア等への生徒の積極的な参加を進める。 地域に学校の教育資源、施設を開放し、地域貢献に努める。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 全ての職員が不祥事防止の意識を持ち、保護者・地域・県民から信頼される学校運営を行う。 生徒の安全・安心の確保のため、環境教育や防災教育を充実させる。 組織的な学校運営のため、OJTによる人材育成を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> グループが主体となった不祥事防止会議を年間10回以上開催する。 生徒の安全に対する意識を高める体験的・実践的な防災訓練や環境美化活動を実施する。 複数担当及び複数チェック体制を敷き、人材育成及び業務改善を進める。

5 平成29年度 1年間の目標と具体的な取組

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの自主的・意欲的な学習を支援するために、基礎学力の定着と生きる力を育む教育課程を編成する。</p> <p>②授業内容の精選、教授法の研究に組織的に取り組み、授業力向上を推進する。</p>	<p>①生徒一人ひとりの進路実現に向けて、より良い教育課程を編成する。</p> <p>②基本的な学習習慣を身につけさせ、AL学習を基調とした授業を実践し、確かな学力の育成を目指すとともに、進路実現に結びつく学びのために組織的な授業改善を推進する。</p>	<p>①多様な進路の実現を支援し、生徒の実態に応じた系列科目の設置を検討する。</p> <p>②組織的な授業改善に向けて、授業研究や研修会などを計画的に実践・研究し、生徒が主体的に取り組む授業のあり方を職員間で共有する。また、教材の共有及び同一科目における共通テストを進める。</p>	<p>①生徒の興味・関心に基づいて、生徒の進路保障となる選択科目の検討及び設置ができたか。</p> <p>②80%以上の生徒が分かり易い授業であり、主体的に学習活動に取り組むことができたかと評価したか。</p> <p>②各教科において組織的に教材研究に取り組み、教材の共有化ができたか。</p> <p>②同一科目における共通テストを100%実施できたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの自己肯定感を育み、安全かつ安心して生活を送れる学校づくりを進める。</p> <p>②心と体の健康と「いのちの尊重に関する教育」の組織的な研究・実践を推進し、社会性と主体性を伸長する。</p>	<p>①基本的生活習慣を身につけさせ、ルール・マナーを遵守し、規範意識を育成する。</p> <p>①部活動を活性化し、加入率の上昇に努める。</p> <p>②生徒相談の充実を図り、安心して過ごせる学校環境の維持に努める。</p> <p>②「いのちの尊重に関する教育」の取組を継続し、校内外の相談体制を構築する。</p>	<p>①朝の立ち番指導、遅刻指導を継続する。</p> <p>①年2回いじめアンケートを実施し、生徒の実態を把握する。</p> <p>①入部率を上げるために仮入部期間を長くするとともに、中学との部活動交流を行う。</p> <p>②生徒支援に向けた職員の研修会を実施し、より良い生徒支援となる知識や技能の獲得を目指す。</p>	<p>①遅刻者や苦情件数、特別指導件数が減少したか。</p> <p>①いじめ問題の早期発見・早期解決に向けて、組織的に取り組んだか。</p> <p>①部活動の入部率が50%を超えたか。</p> <p>②必要に応じてケース会議を設定し、情報を共有しながら多角的な視点に立って、課題解決ができたか。</p> <p>②「いのちの尊重に関する教育」に係る教職員研修を1回以上実施できたか。</p>

3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりに応じた進学・就職に向けた指導を充実させる。</p> <p>②ガイダンス科目を通して社会的・職業的に自立することを目指す人間を育成する。</p>	<p>①生徒一人ひとりに応じた進路指導を行い、希望の進路実現率100%をめざす。</p> <p>②各年次のガイダンス科目の内容を充実させ、生徒が主体となって課題解決に取り組み、社会的・職業的に自立しようとする態度や能力を育成する。</p>	<p>①進路説明会や三者面談が効果的に実施できるよう内容や資料を充実させ、進路指導の系統化を図る。</p> <p>①校外連携講座など学校外活動への参加を生徒に積極的に呼びかけ、生徒が主体的に進路活動に取り組む環境を整える。</p> <p>②生徒が主体となり、調査・分析・考察・発表などの活動をとおして、課題解決に向けた取組ができよう教材を作成し、指導する。</p>	<p>①希望の進路実現率が80%を超えたか。</p> <p>①年次進行による系統だった三者面談の内容、資料の見直しができたか。</p> <p>①校外連携講座やインターンシップ等への参加者が増加したか。</p> <p>②70%以上の生徒が自己達成感を持つとともに、社会的・職業的に自立しようとする意識が高まったか。</p> <p>②他者を理解し尊重する態度を獲得できたかと評価したか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。</p> <p>②社会に貢献し、開かれた学校づくりを目指す。</p>	<p>①地域の行事に協力し、生徒やPTAが積極的に参加できる環境を整備する。</p> <p>②公開授業等、学校の持つ教育機能や施設を積極的に地域に提供する。</p>	<p>①地域の行事やボランティアへの積極的な参加を呼びかけ、社会貢献が重要であるという意識を育む。</p> <p>②HPをとおして本校の情報を発信するとともに、地域の方々との交流や地域事業所等などの教育力を活用する。</p>	<p>①生徒やPTAの社会貢献への意識が高まったか。また、参加者が増加したか。</p> <p>②HPの更新が適切に行われたか。</p> <p>②公開授業の参加人数が増加したか。</p> <p>②地域や事業所等の教育力を活用できたか。</p>

5	学校管理 学校運営	<p>①全ての職員が不祥事防止の意識を持ち、保護者・地域・県民から信頼される学校運営を行う。</p> <p>②生徒の安全・安心の確保のため、環境教育や防災教育を充実させる。</p> <p>③組織的な学校運営のため、OJTによる人材育成を進める。</p>	<p>①不祥事防止の職員意識を高め、不祥事ゼロを目指す。</p> <p>②計画的な防災訓練及び地域と連携した防災訓練の実現に取り組む。</p> <p>③組織的な業務遂行をとおして職員の資質・能力を高める。</p>	<p>①定期的に職員による事故防止会議を実施するとともに事故防止に向けた研修会を実施する。</p> <p>②防災教室・防災訓練を計画的に実施するとともに、地域と連携し具体的な防災訓練の検討を行う。</p> <p>③複数担当制によるチェック機能の充実と引継ぎ体制を確立する。</p>	<p>①教職員による事故防止の発表を年間10回以上できたか。</p> <p>①事故不祥事防止に向けた研修をとおして職員の意識が高まったか。</p> <p>②計画的な防災教育ができたか。</p> <p>②地域の防災訓練を把握し、本校が具体的に協力できる内容を検討したか。</p> <p>③業務の引継ぎが組織的に円滑に行われたか。</p> <p>③保管文書の整理整頓ができたか。</p>
---	--------------	--	--	--	---